



西脇市の「こどもまんなか社会」の実現をサポート
大阪教育大学教授
小崎 恭弘さん

クローズアップ

—今、「旬」の人や団体をご紹介—

子どもの声を聴くことから、まちの子育てが始まる

父親として3人の子どもを育てながら、子どもや子育てについて発信を続ける大阪教育大学教授の小崎恭弘さん。専門家として「西脇こども会議」をはじめ、「こどもまんなか社会」の実現に向けた市の取り組みに関わり、子どもたちの声を生かすヒントを届けてくださっています。

西宮市で生まれ育った小崎さんは、学生時代に野外活動で子どもたちと触れ合った経験から保育士を志しました。西宮市初の男性保育士として

採用され、育児休業も取得。「自分の子を自分で育てるのは当たり前」と考えていたが、その姿は当時珍しく、テレビの取材を受けたこともあり、12年間の保育現場での勤務を経て、父親の子育てへの関わり方を研究するため大学教員に転身しました。西脇市とは20年以上前に人権講演会の講師を務めたことがきっかけでつながり、茜が丘複合施設みらいえの運営や認定こども園への移行など、子育てや男女共同参画の施策に関わってきました。「西脇は発言する人が多く、地域に熱い思いを持つ人が多い証拠」と語ります。

西脇こども会議では、子どもたちに優しく語りかけ、意見を引き出す進行役を務めます。「父性や母性ではなく、子どもと関わる中で『親性』が育つ」と話し、子育て中ではない人も「地域で子どもを大切にすることで、社会全体で親になることができる」と言います。「最終的には父親に特化した支援が無くなるのが理想」と小崎さん。誰もが子育てに関わり、支え合える地域づくりを先導します。

いきいき♪ にしわきっ子



衣笠 澪茉ちゃん
4か月
衣笠家3人目のお嬢愛してるよ♡
啓真さん・周佑さん（西脇）

お子さんの写真を広報紙に掲載しませんか。QRコードを読み取ると、応募専用フォームにつながります。
▶対象 市内在住のおおむね12歳までのお子さん
▶申込み・問合せ 市長公室（市役所内線3051）



與那嶺 光葉ちゃん 日向ちゃん
3歳9か月 6歳
毎日兄弟げんかしてるけど2人の笑顔が大好き♡
利明さん・加奈子さん（和田町）

写真を募集しています

お子さんを写したとっておきの1枚はありませんか。

- ▶対象 市内在住のおおむね12歳まで
▶申込方法 メールに写真データを添付して下記の情報をお送りください。
①お子さんの氏名（ふりがな）
②生年月日
③保護者の氏名（ふりがな）
④住所
⑤電話番号
⑥お子さんへのメッセージ（10字程度）

「広報にしわき」は市民の皆さんとともに作っています。情報をお寄せください。